

担当鈴木英子 スタイリスト学科1年

☆概要

服作りの技術と考え方を製作実習を通して学びます。まずは平面構成からはじめ、服はどのようなパーツを組み合わせて作るのかを理解する必修科目である。

☆授業のねらい

基本アイテムの平面製図・製作をとおし服作りの基本を学ぶようにする。今後の礎となる。

☆目標

製図方法、ミシンの使い方、素材にあわせた縫製技術を理解し、オリジナルの作品ができるようになることを目指す。

☆授業計画

8単位(総授業時数 280 講義時数 40 実習時数 240)

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1週	ミシンの使い方、縫い方の練習	復習:反復練習
2週	採寸・原型の製図	復習:残った作業を進める
3週	《レディースシャツ》 原型使用パターンメイキング(製図)	復習:残った作業を進める
4週	パターンに縫製仕様指示書き	復習:残った作業を進める
5週	各パーツの工業用パターン作成、マーキング	復習:残った作業を進める
6週	生地裁断、芯貼り、アイロン	予習:生地、付属の準備
7週	部分縫い縫製(練習)	復習:縫製の確認
8週	縫製	復習:残った作業を進める
9週	仕上げ	復習:セルフチェック
10週	《メンズシャツ》 囲み製図パターンメイキング	復習:残った作業を進める
11週	パターンに縫製仕様指示書き	復習:残った作業を進める
12週	各パーツの工業用パターン作成、マーキング	復習:残った作業を進める
13週	生地裁断、芯貼り、アイロン	予習:生地、付属の準備
14週	縫製	復習:縫製の確認
15週	仕上げ	復習:セルフチェック
16週	《オリジナル作品》 各アイテムパターンメイキング・パターン展開	復習:残った作業を進める
17週	トワル作成	復習:残った作業を進める
18週	トワルフィッティング・修正	復習:残った作業を進める
19週	各アイテムパターン修正・作成	復習:残った作業を進める
20週	パターンに縫製仕様指示書き、付属確認	復習:残った作業を進める
21週	各パーツの工業用パターン作成	復習:残った作業を進める
22週	マーキング	復習:残った作業を進める
23週	生地裁断、芯貼り、アイロン	予習:生地、付属の準備
24週	縫製	復習:残った作業を進める
25週	装飾等	復習:残った作業を進める
26週	仕上げ	復習:セルフチェック
27週	《技能検定用タイトスカート》 生地裁断、芯貼り、アイロン	
28週	縫製	
29週	《5PKTパンツ》 支給パターン・縫い代付け	復習:残った作業を進める
30週	マーキング	復習:残った作業を進める
31週	生地裁断、芯貼り、アイロン	予習:生地、付属の準備
32週	縫製	復習:残った作業を進める
33週	仕上げ	復習:セルフチェック
34週	《ポケット部分縫い》 スラッシュポケット・箱ポケット	復習:縫製の確認
35週	片玉縁ポケット・両玉縁ポケット	

☆フィードバックの方法

作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。提出課題には添削・採点后に返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30	%
課題	40	%
試験結果	25	%
検定試験	5	%
企業研修	—	

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

服飾造形講座①服飾造形の基礎、②スカート・パンツ、③ブラウス・ワンピース

☆オフィスアワー

火・水曜日09時00分～12時10分：20D教室

鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

デザイン画 I

担当鈴木英子 スタイリスト学科1年

☆概要
人体や基本的な表現方法を、クロッキーなどで理解し、人体のプロポーション・顔・手・足などの描き方、又色彩による素材・柄・質感立体的な表現方法など基本的なデザイン画の描き方を学ぶ。必修科目である。

☆授業のねらい
服飾デザイン画の基礎知識である色彩・形態・構成などを講義と演習で学び、美的選択眼と構成力を習得する。

☆目標
人体と衣服の関連を把握し、デザインの構造線を正確に描くことができるようにする。

☆授業計画

4単位(総授業時数 140

講義時数 40

実習時数 100)

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	基本となるプロポーション (8頭身の描き方)	デッサン10分 復習:反復練習
2回	顔のプロポーション・手の描き方	デッサン10分 復習:反復練習
3回	水着のデザイン	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
4回	ポーズのバリエーション①	デッサン10分 復習:反復練習
5回	ポーズのバリエーション②	デッサン10分 復習:反復練習
6回	ポーズのバリエーション③	デッサン10分 復習:反復練習
7回	材質表現(ウール・チェック柄)	デッサン10分 予習:素材リサーチ
8回	材質表現(透ける素材)	デッサン10分 予習:素材リサーチ
9回	材質表現(毛皮)	デッサン10分 予習:素材リサーチ
10回	衿のデザインバリエーション	デッサン10分 復習:反復練習
11回	袖のデザインバリエーション	デッサン10分 復習:反復練習
12回	テーマデザイン テーマ「動植物」	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
13回	テーマデザイン テーマ「自然現象」	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
14回	アイテム図の描き方	デッサン10分 復習:反復練習
15回	SMSDデザインショー デザイン画	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
16回	デザイン発想 テーマ「ワッペン」企画立案・アイディア展開	デッサン10分 予習:資料収集
17回	コンセプト決定・デザイン案展開	デッサン10分 復習:残った作業を進める
18回	素材・構造検討	デッサン10分 復習:残った作業を進める
19回	デザイン決定・レンダリング	デッサン10分 復習:残った作業を進める
20回	ボード作成・プレゼン	デッサン10分 復習:作品の見直し
21回		各自の進行状況に合わせる
22回	特別授業(展示会&ショーのため)	復習:残った作業を進める
23回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	《パネル作品》 パネル水貼り・デザイン考案	デッサン10分 予習:資料収集
27回	アイディア展開	デッサン10分 復習:残った作業を進める
28回	コンセプト決定・デザイン案展開	デッサン10分 復習:残った作業を進める
29回	デザイン決定・レンダリング	デッサン10分 復習:残った作業を進める
30回	パネルに下描き	デッサン10分 復習:残った作業を進める
31回	パネル着彩	デッサン10分 復習:残った作業を進める
32回	パネル着彩	デッサン10分 復習:残った作業を進める
33回	パネル着彩	デッサン10分 復習:残った作業を進める
34回	パネル着彩	デッサン10分 復習:残った作業を進める
35回	まとめ・合評開	復習:作品の振り返り

☆フィードバックの方法

各作品添削の際に、コメントやアドバイスを記入して、次回以降の授業で返却する。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画
GAP、各種ファッション雑誌

☆オフィスアワー

月曜日13時10分～16時20分: 20D教室

鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

西洋服装史

担当鈴木英子 スタイリスト学科1年

☆概要

古代から近代に至る西洋服飾文化を、時代背景・社会情勢を考えながら、どのようにモードが変化してきたかを学ぶ。
必修科目である。

☆授業のねらい

各時代の民族・地域・風土・宗教・流行などの特色を理解する。その知識と理解に基づいて、現代～未来につながるデザインを創造する。

☆目標

デザインを志すものにとって洋服の歴史や基礎知識を知ること、更に広い視野をもてるようにする。

☆授業計画

2単位(総授業時数 70 講義時数 70 実習時数 0)

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	服装変遷の要因	予習:教科書を確認
2回	《古代の服装》	予習:教科書を確認
3回	エジプト様式	予習:教科書を確認
4回	ギリシャ様式	予習:教科書を確認
5回	ローマ様式	復習:授業内容を整理しまとめる
6回	《中世の服装》	予習:教科書を確認
7回	ビザンチン様式	予習:教科書を確認
8回	ロマネスク様式	予習:教科書を確認
9回	ゴシック様式	復習:授業内容を整理しまとめる
10回	《近世の服装》	予習:教科書を確認
11回	ルネサンス様式 16世紀	予習:教科書を確認
12回	バロック様式 17世紀	予習:教科書を確認
13回	ロココ様式 18世紀	復習:授業内容を整理しまとめる
14回	《近代の服装》	予習:教科書を確認
15回	クラシックスタイル ロマン主義スタイル	予習:教科書を確認
16回	クリノリンスタイル パスルススタイル	予習:教科書を確認
17回	ブルーマー Sカーブシルエット	予習:教科書を確認
18回	ホップル	復習:授業内容を整理しまとめる
19回	《現代の服装》	予習:教科書を確認
20回	着装とデザイン(ディオールを事例として)	予習:教科書を確認
21回	1920年代 デザイナー論(シャネル)女性の自立	予習:教科書を確認
22回	1930年代～1940年代 ファッションの変遷	予習:教科書を確認
23回		予習:教科書を確認
24回		復習:授業内容を整理しまとめる
25回	特別授業(展示会&ショウのため)	各自の進行状況に合わせる
26回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
27回		復習:残った作業を進める
28回		復習:残った作業を進める
29回		復習:残った作業を進める
30回	《現代の服装》1950年代 ニュールック/オードリー・ヘップバーン	予習:教科書を確認
31回		予習:教科書を確認
32回	1960年代 ミニスカート/タイビールック/モッズルック	予習:教科書を確認
33回		予習:教科書を確認
34回	1970年代 フォークロアルック/ジーンズファッション	予習:教科書を確認
35回		予習:教科書を確認
	1980年代 ジャンポール・ゴルチエ	予習:教科書を確認
	ヴィヴィアン・ウエストウッド	予習:教科書を確認
	1990年代 ストリートファッション	予習:教科書を確認
		復習:授業内容を整理しまとめる

☆フィードバックの方法

授業内で不明点があれば、その場で対応する。定期的に授業内容をまとめたノートを個別に点検、指導を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	35 %
試験結果	35 %
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

ファッションの歴史

☆オフィスアワー

火曜日14時50分～16時20分:20D教室

鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

色彩学

担当鈴木英子 スタイリスト学科1年

☆概要

色が溢れている現代世の中で、身近な表現手段の1つである色彩に親しみ、色として見える仕組み・カラーコミュニケーションの主な方法・色彩の実用価値と効果を知り色彩を有効に活用するための基本的な知識を身につける必修科目である。

☆授業のねらい

色の持つ物理的側面・心理的側面・デザインの側面を、講義形式による理論の説明と共に、カラーカードを用いた演習を行い色彩の基礎を習得する。

☆目標

「色彩検定3級」の取得を目標とする。

☆授業計画

1単位(総授業時数 35 講義時数 20 実習時数 15)

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	色が見える仕組み① 光について	予習:教科書を確認
2回		予習:教科書を確認
3回	色が見える仕組み② 物体について	予習:教科書を確認
4回		予習:教科書を確認
5回	色が見える仕組み③ 視覚について	予習:教科書を確認
6回		予習:教科書を確認
7回	混色の原理 加法混色・減法混色	予習:教科書を確認
8回	混色の原理 中間混色について	予習:教科書を確認
9回	色の表示方法① 慣用色名、系統色名で伝える	予習:教科書を確認
10回		予習:教科書を確認
11回	色の表示方法② 色の三属性で伝える	予習:教科書を確認
12回		予習:教科書を確認
13回	色の表示方法③ PCCSを理解する	予習:教科書を確認
14回		予習:教科書を確認
15回	色の知覚的効果① 色対比、面積効果など	予習:教科書を確認
16回		予習:教科書を確認
17回	色の知覚的効果②	予習:教科書を確認
18回		予習:教科書を確認
19回		各自の進行状況に合わせる
20回	特別授業(展示会&ショウのため)	復習:残った作業を進める
21回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
22回		復習:残った作業を進める
23回		復習:残った作業を進める
24回	色の心理的効果	予習:教科書を確認
25回		予習:教科書を確認
26回	色彩調和① 色相から配色を考える	復習:残った作業を進める
27回		復習:残った作業を進める
28回	色彩調和②	復習:残った作業を進める
29回		復習:残った作業を進める
30回	色彩調和③	復習:残った作業を進める
31回		復習:残った作業を進める
32回	色彩調和④ トーンから配色を考える	復習:残った作業を進める
33回		復習:残った作業を進める
34回	色彩調和⑤ 配色の基本的な技法	復習:残った作業を進める
35回		復習:残った作業を進める

☆フィードバックの方法

授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30	%
課題	40	%
試験結果	25	%
検定試験	5	%
企業研修	—	

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

色彩検定公式テキスト

☆オフィスアワー

木曜日09時00分～09時45分: 20D教室

鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

素材学

担当鈴木英子 スタイリスト学科1年

☆概要
繊維、糸、織物、編み物等アパレル素材の基本的な知識を学び、服地の特性や、効果、用途を知る為の必修科目である。

☆授業のねらい
衣服材料の基礎的知識の習得により、衣服の設計・製作において、目的に応じた適切な素材の選択ができる。

☆目標
基本素材の特性・用途を理解し、素材ごとの欠点、注意点、加工の仕方によるメリット・デメリットを習得しアパレル素材の知識を深める

☆授業計画		2単位(総授業時数 70	講義時数 40	実習時数 30)
回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)		
1回	素材(テキスタイル)とは	復習:授業内容を整理しまとめる		
2回	織物の種類	復習:授業内容を整理しまとめる		
3回	組織の分類	復習:授業内容を整理しまとめる		
4回	三原組織 平織り	復習:授業内容を整理しまとめる		
5回	三原組織 綾織り	復習:授業内容を整理しまとめる		
6回	三原組織 朱子織り	復習:授業内容を整理しまとめる		
7回	変化組織	復習:授業内容を整理しまとめる		
8回		復習:授業内容を整理しまとめる		
9回	特別組織	復習:授業内容を整理しまとめる		
10回		復習:授業内容を整理しまとめる		
11回	混合組織	復習:授業内容を整理しまとめる		
12回		復習:授業内容を整理しまとめる		
13回	重ね組織	復習:授業内容を整理しまとめる		
14回		復習:授業内容を整理しまとめる		
15回	綿糸について	復習:授業内容を整理しまとめる		
16回		復習:授業内容を整理しまとめる		
17回	獣毛について	復習:授業内容を整理しまとめる		
18回		復習:授業内容を整理しまとめる		
19回	絹織物について	復習:授業内容を整理しまとめる		
20回		復習:授業内容を整理しまとめる		
21回		各自の進行状況に合わせる		
22回	特別授業(展示会&ショウのため)	復習:残った作業を進める		
23回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める		
24回		復習:残った作業を進める		
25回		復習:残った作業を進める		
26回	生地見本帳作り No. 1~7	復習:残った作業を進める		
27回	生地見本帳作り No. 8~14	復習:残った作業を進める		
28回	生地見本帳作り No. 15~21	復習:残った作業を進める		
29回	生地見本帳作り No. 22~28	復習:残った作業を進める		
30回	生地見本帳作り No. 29~36	復習:残った作業を進める		
31回	生地見本帳作り No. 37~43	復習:残った作業を進める		
32回	生地見本帳作り No. 44~50	復習:残った作業を進める		
33回	繊維の燃焼実験・繊維の分類	復習:実験内容をまとめる		
34回	顕微鏡による織物の細部観察	復習:実験内容をまとめる		
35回	まとめ			

☆フィードバックの方法
授業内で不明点があれば、その場で対応する。提出課題には添削・採点后返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30	%
課題	40	%
試験結果	25	%
検定試験	—	
企業研修	—	

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
服飾関連専門講座①アパレル素材論
☆オフィスアワー
火曜日13時10分~14時40分: 20D教室
鈴木英子担当

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

コーディネート演習

担当佐藤道子 スタイリスト学科1年

☆概要

なかなか短期間のshop研修はできないが、グループ企業のshop「harmy hudson」では、他の授業に影響がない時間割でインターシップ（shop研修）を経験する。お客様との接し方、コーディネート提案力、商品知識を身につけるために必要な必須科目である。

☆授業のねらい

現場体験を通して、実践的なスキルを学ぶ。

☆目標

専門的スキルとコミュニケーション能力を身に付けることを目指す。

☆授業計画

2単位(総授業時数 140 講義時数 20 実習時数 120)

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《接客について》	あいさつの基本
2回		立ち振る舞い
3回		心構え
4回		表情(顔・目・口元・笑顔)
5回		会話
6回		ご案内
7回		接客用語
8回	《商品の把握》	商品の種類と名称をおぼえる
9回		商品の種類と名称をおぼえる
10回	《セールスコーディネート》	SHOPの商品をコーディネート
11回		SHOPの商品をコーディネート
12回		SHOPの商品をコーディネート
13回		SHOPの商品をコーディネート
14回		SHOPの商品をコーディネート
15回	《ポップ作成》	イベント用
16回		セール用
17回		etc...
18回	特別授業(展示会・ショーのため) オリジナル作品製作	各自の進行状況に合わせる
19回		復習:残った作業を進める
20回		復習:残った作業を進める
21回		復習:残った作業を進める
22回		復習:残った作業を進める
23回	《SNSプロモーション》	SNS発信方法
24回		SNS発信方法
25回		写真の撮り方
26回		写真の撮り方
27回		SNS発信
28回		SNS発信
29回	《在庫管理》	数え方・数の把握
30回		数え方・数の把握
31回		新商品の受け入れ
32回		値札付け
33回	《ラッピング》	ラッピングテクニック
34回		リボンのかけ方・結び方
35回		応用ラッピング

☆フィードバックの方法

授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	—
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	70 %

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

なし

☆オフィスアワー

水曜日 13時10分～16時20分 : harmy hudson Shop
佐藤道子担当授業時数70時間

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

手芸

担当加藤光子 スタイリスト学科1年

☆概要
ファッションコーディネートに欠かすことの出来ないものには装飾手段(刺繍・プリントETC)・ファッション小物(帽子・手袋・靴ETC)アクセサリー(ネックレス・リング・ブローチETC)などたくさんあります。その中からいくつかを選び 実際に作成することで各アイテムのデザイン力・素材の選び方・用途に応じる工夫・目的に沿ったもの作りと様々な想いに対応できる能力をを身につけるため必要とする必修科目である。

☆授業のねらい
コーディネートテクニックの一つとして自分で作ることの出来るアクセサリー等の基本的な知識と作り方・テクニックを学ぶ。

☆目標
広い視野で様々な情報をキャッチしながらファッションをトータルに表現出来る技術を身につける。

☆授業計画 4単位(総授業時数 140 講義時数 40 実習時数 100)

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《こぎん刺し・ぼうし》	予習:生地・附属の準備
2回	こぎんの基礎	復習:残った作業を進める
3回	基礎刺し	復習:残った作業を進める
4回	ぼうしデザイン考案	予習:デザインリサーチ
5回	ぼうしパターン作成	復習:残った作業を進める
6回	生地裁断・芯貼り・アイロン	予習:生地・附属の準備
7回	こぎん刺し	復習:残った作業を進める
8回	こぎん刺し	復習:残った作業を進める
9回	縫製	復習:残った作業を進める
10回	縫製	復習:残った作業を進める
11回	仕上げ	復習:セルフチェック
12回	《デザイン刺繍シャツ》	予習:デザインリサーチ
13回	デザイン考案	復習:残った作業を進める
14回	刺繍(オリジナルシャツ)	復習:残った作業を進める
15回	刺繍(オリジナルシャツ)	復習:残った作業を進める
16回	刺繍(オリジナルシャツ)	復習:残った作業を進める
17回	刺繍(オリジナルシャツ)	復習:残った作業を進める
18回	刺繍(オリジナルシャツ)	復習:残った作業を進める
19回	装飾等	復習:残った作業を進める
20回	仕上げ	復習:セルフチェック
21回	特別授業(展示会・ショーのため)	各自の進行状況に合わせる
22回	オリジナル作品製作	復習:残った作業を進める
23回		復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	《カジュアルネクタイ》	予習:パターン用紙等の準備
27回	パターン作成	予習:生地・附属の準備
28回	生地裁断・芯貼り・アイロン	復習:残った作業を進める
29回	縫製	復習:残った作業を進める
30回	縫製	復習:セルフチェック
31回	仕上げ	
32回	《シルバーアクセサリー》	予習:デザインリサーチ
33回	デザイン考案	予習:材料を準備する
34回	作成(ねんど)	復習:残った作業を進める
35回	作成(乾燥)	復習:残った作業を進める
	作成(焼く)	復習:セルフチェック
	仕上げ	

☆フィードバックの方法
作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。提出課題には添削・採点後返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
コーディネートテクニックアクセサリー編

☆オフィスアワー
金曜日 13時10分～16時20分: 20F教室
加藤光子担当

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

服飾概論 I

担当鈴木英子 スタイリスト学科1年

☆概要

服を作成するために必要なパターンを平面製図を引きながら、身頃、袖、衿等の形を覚えていく。またパターンを作る上で重要な考え方・用語・人体についての知識も同時に学ぶ基礎的な科目である。よって必修科目である。

☆授業のねらい

衣服について学ぶ。人体について学ぶ。人体の計測について学ぶ。パターンについて学ぶ。服を作るために最低限必要なことをまなぶ。今後、全ての科目の基礎になるような授業にする。基礎に徹する。

☆目標

次年度受験する「パターンメイキング技術検定試験3級」の取得を目標とする。

☆授業計画

2単位(総授業時数 70

講義時数 40

実習時数 30)

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《服飾造形概論》 衣服と服飾造形	予習:教科書を確認
2回	衣服の分類	予習:教科書を確認
3回	衣服製作のプロセス	復習:授業内容の整理・まとめ
4回	《衣服製作のための用具》 採寸用具、作図用具等	予習:シーチングの地直し
5回	《衣服製作のための人体について》 人体の方位と体表区分	予習:教科書を確認
6回	衣服製作のための人体の構造	予習:教科書を確認
7回	人体のプロポーション	予習:教科書を確認
8回	人体の運動と衣服パターンの関係	復習:授業内容の整理・まとめ
9回	《衣服製作のための人体計測》 計測姿勢・計測の着衣	予習:教科書を確認
10回	計測方法・参考寸法	復習:授業内容の整理・まとめ
11回	《パターン製作の基礎》 平面作図と立体的裁断について	予習:教科書を確認
12回	原型について・作図方法	復習:作図反復練習
13回	体型と原型	予習:教科書を確認
14回	パターンの操作法(ダーツ移動など)	復習:操作法反復練習
15回	《衣服素材と付属材料》 衣服素材とデザイン・付属材料	予習:教科書を確認
16回	《裁断・縫製の基礎》 使用量の見積もり方・縮絨・地直し・布地の表裏の見分け方	予習:教科書を確認
17回	裁断・印付け・布地に合わせた糸・針の選び方	予習:教科書を確認
18回	基礎縫い(手縫い)	復習:残った作業を進める
19回	基礎縫い(ミシン縫い)	復習:残った作業を進める
20回	特別授業(展示会&ショウのため) オリジナル作品製作	各自の進行状況に合わせる
21回		パターンは全て工業用パターンで作成する
22回		復習:残った作業を進める
23回		復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回	《既製服の概念》 既製服の基礎知識・既製服と注文服	予習:教科書を確認
26回	パターンメイキング用語	予習:教科書を確認
27回	既製服のパターンについて	予習:教科書を確認
28回	《ファーストパターンメイキング》 フラットパターンメイキングの基礎知識	予習:教科書を確認
29回	フラットパターンメイキング 実技1(身頃)	復習:残った作業を進める
30回	フラットパターンメイキング 実技2(衿)	復習:残った作業を進める
31回	フラットパターンメイキング 実技3(袖)	復習:残った作業を進める
32回	フラットパターンメイキング 実技4(スカート)	復習:残った作業を進める
33回	フラットパターンメイキング 実技5(ブラウス・シャツ)	復習:残った作業を進める
34回	ドレーピングの基礎知識	予習:教科書を確認
35回	ドレーピングの実技について	予習:教科書を確認

☆フィードバックの方法

作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。提出課題には添削・採点後に返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	50 %
試験結果	20 %
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

服飾造形講座①服飾造形の基礎、②スカート・パンツ、③ブラウス・ワンピース
パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック

☆オフィスアワー

金曜日09時00分～10時30分: 20D教室

鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

ファッションビジネス

担当鈴木英子 スタイリスト学科1年

☆概要
ファッション産業の意味や役割、構造、ファッションビジネスの機能やシステムなどを総合的に学ぶ、必修科目である。

☆授業のねらい
ビジネスとして成り立つ商品企画を行うための、市場調査・商品計画・計数管理等の基本や、それぞれの専門的な職能や職域を具体的に理解する。

☆目標
「ファッションビジネス能力検定3級」の取得を目標とする。

☆授業計画 2単位(総授業時数 70 講義時数 50 実習時数 20)

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《ファッションビジネス》 60～90年代ファッションビジネスの変遷	予習:教科書を確認
2回	ファッションビジネスの定義・特性・構成メンバー	予習:教科書を確認
3回	《ファッション生活》 消費者行動/ファッション生活空間	予習:教科書を確認
4回	《ファッション消費》 ファッションとライフスタイル/ライフスタイル変化	予習:教科書を確認
5回	《ファッション産業構造》 繊維ファッション産業の構造/アパレル企業の業態	予習:教科書を確認
6回	小売業の構造/アパレル小売業の業態	予習:教科書を確認
7回	《ファッションマーケティング》 マーケティング基礎知識/ターゲットとコンセプト	予習:教科書を確認
8回	市場調査の基礎知識	予習:教科書を確認
9回	*市場調査実施・調査書まとめ	復習:市場調査結果をまとめる
10回	《ファッションマーチャндаイジング》 マーチャндаイジングの基礎知識	予習:教科書を確認
11回	ファッション資料の知識/売場商品構成の基礎	予習:教科書を確認
12回	《ファッション流通》 流通/ファッション小売業の業務	予習:教科書を確認
13回	《ファッション販売》 コミュニケーションの基本/販売の基本マナー	予習:教科書を確認
14回	接客技術/顧客作り・ファン作り	予習:教科書を確認
15回	《キャリアプラン》 自己啓発/ファッションアドバイザー	予習:教科書を確認
16回	《ビジネス基礎知識》 社会常識Ⅰ/企業と組織Ⅰ	予習:教科書を確認
17回	ビジネス文書/計数知識	予習:教科書を確認
18回	《ファッション文化》 ファッションの定義/ファッションとデザインとアート	予習:教科書を確認
19回	《デザイン文化》 ファッションの歴史(オートクチュール・プレタポルテ)	予習:教科書を確認
20回		各自の進行状況に合わせる
21回	特別授業(展示会&ショウのため)	復習:残った作業を進める
22回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
23回		復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回	《ファッション ライフスタイルとコーディネーション/スタイリング1	予習:教科書を確認
26回	《コーディネーション》 スタイリング2/ディスプレイ基礎知識	予習:教科書を確認
27回	《ファッション商品知識》 アパレルとアイテム・シルエット・ディテールの知識	予習:教科書を確認
28回	ファッション商品と品質/サイズの知識	予習:教科書を確認
29回	素材知識(繊維・糸・ニット)	予習:教科書を確認
30回	《ファッションデザイン》 デザイン画と製品図による表現/デザインと機能/色彩	予習:教科書を確認
31回	《パターンメイキング》 パターン基礎知識	予習:教科書を確認
32回	《ファッションエンジニアリング》 裁断・縫製の基礎知識	予習:教科書を確認
33回	《商品企画書》 ターゲット企画・情報企画	復習:残った作業を進める
34回	コンセプト企画・コーディネート企画	復習:残った作業を進める
35回	アイテム企画・デザインニング	復習:企画書の振り返り

☆フィードバックの方法
授業内で不明点があれば、その場で対応する。提出課題には添削・採点後返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30	%
課題	40	%
試験結果	25	%
検定試験	5	%
企業研修	—	

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
ファッションビジネス能力検定試験3級ガイドブック

☆オフィスアワー
金曜日10時40分～12時10分:20D教室
鈴木英子担当

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

ディスプレイ I

担当鈴木英子 スタイリスト学科1年

☆概要

ショーウィンドウを使用して、空間演出の基礎知識から売り場のディスプレイ・展示会ディスプレイなど実践的に学ぶ。ディスプレイは人を惹きつけるための要素である。よってアパレルにはなくてはならない知識であるため必修科目である。

☆授業のねらい

ディスプレイプランを忠実に表現するためのディスプレイテクニックを身につける。

☆目標

ディスプレイ実習のプランニングから演出小道具制作・ショーイングまでをグループごとに分業、共同作業を行い完成させることができる。

☆授業計画

4単位(総授業時数 140 講義時数 15 実習時数 125)

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	ディスプレイ① 春用にチェンジ ディスプレイについて説明	復習:ディスプレイを見直す
2回	《ディスプレイ②》初夏 企画立案、アイディア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
3回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
4回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
5回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
6回	ディスプレイ② 初夏にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
7回	《ディスプレイ③》夏 企画立案、アイディア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
8回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
9回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
10回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
11回	ディスプレイ③ 夏にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
12回	《ディスプレイ④》秋 企画立案、アイディア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
13回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
14回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
15回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
16回	ディスプレイ④ 秋にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
17回	《ディスプレイ⑤》冬 企画立案、アイディア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
18回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
19回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
20回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
21回		各自の進行状況に合わせる
22回	特別授業(展示会&ショーのため)	復習:残った作業を進める
23回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	ディスプレイ⑤ 冬にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
27回	《ディスプレイ⑥》梅春 企画立案、アイディア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
28回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
29回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
30回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
31回	ディスプレイ⑥ 梅春にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
32回	《ディスプレイ①》春 企画立案、アイディア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
33回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
34回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
35回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める

☆フィードバックの方法

授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

ディスプレイノート

☆オフィスアワー

月曜日09時00分～12時10分:20D教室
鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

服飾造形Ⅱ

担当鈴木英子 スタイリスト学科2年

☆概要
製作するアイテムごとのデザインに対する素材や付属の選び方、裁断、フィッティング、パターン修正、縫製等、様々な技術を習得する必修科目である。

☆授業のねらい
卒業研究の授業と連携を持ち商品企画から生産にいたるまでの流れをデザインから製作を通して体験し理解する。

☆目標
各アイテムのデザインから製作までを一貫して行うことで、あらゆるアイテムのデザインに対応できる技術力を目標に作品を製作する。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 40 実習時数 100

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《卒研》 テーマ・デザイン考案・素材選択	予習:デザインについてリサーチ
2回	ポートフォリオ作成・プレゼンテーション	予習:ポートフォリオ資料集め
3回	《卒研トワル①》 仮縫い用パターン作成(平面製図・立体裁断・パターン展開)	復習:時間内に終わらないものは各自作業を進める
4回	トワル作成	
5回	《卒研トワル②》 仮縫い用パターン作成(平面製図・立体裁断・パターン展開)	復習:時間内に終わらないものは各自作業を進める
6回	トワル作成	
7回	《卒研トワル③》 仮縫い用パターン作成(平面製図・立体裁断・パターン展開)	復習:時間内に終わらないものは各自作業を進める
8回	トワル作成	
9回	《オリジナル作品》 デザイン考案・素材選択・パターンメイキング・パターン展開	予習:デザインについてリサーチ、考案
10回	トワル作成	復習:トワル組み立て
11回	トワルフィッティング・修正	復習:残った作業を進める
12回	各アイテムのパターン修正・作成	復習:残った作業を進める
13回	各パーツの工業用パターン作成・マーキング	復習:残った作業を進める
14回	生地裁断・芯貼り・アイロン	予習:生地、付属の準備
15回	縫製	復習:残った作業を進める
16回	縫製	復習:残った作業を進める
17回	縫製	復習:残った作業を進める
18回	装飾等	復習:残った作業を進める
19回	仕上げ	復習:セルフチェック
20回	《卒業研究作品》 卒研① 縫製	復習:残った作業を進める
21回		復習:残った作業を進める
22回	卒研② 縫製	復習:残った作業を進める
23回		復習:残った作業を進める
24回	卒研③ 縫製	復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	《教育実習指導対策》 タイトスカート縫製手順ノート作り	予習:縫製手順確認
27回	部分縫い縫製(後中心ファスナー付け、ベント明き(表地&裏地))	復習:デモンストレーション準備
28回	部分縫い縫製(マエカン・糸ループ・まつり)	
29回	1年生実習指導	復習:報告書作成
30回	《技能検定用シャツ》 生地裁断・芯貼り・アイロン	
31回	縫製	
32回	《クリエイティブ実習》 デザイン考案・素材選択・パターンメイキング	予習:デザインについてリサーチ、考案
33回	トワル作成・トワルフィッティング・修正	復習:トワル組み立て
34回	生地裁断・芯貼り・アイロン・縫製	復習:残った作業を進める
35回	仕上げ	復習:セルフチェック

☆フィードバックの方法
作業段階ごとに個別に点検・指導を行う。提出課題には添削・採点後に返却し解説を行う。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	40 %
試験結果	25 %
検定試験	5 %
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
ファッション流通講座⑥ コーディネートテクニックアパレル編Ⅱ(商品構成)

☆オフィスアワー
火曜日09時00分～12時10分: 20D教室
鈴木英子担当

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

デザイン画Ⅱ

担当鈴木英子 スタイリスト学科2年

☆概要
デザイン画を描くデザイナー（自分）の、服に対する気持ち・想い・個性が伝わるようなデザイン画を表現できるようにさらに描写力を上達させる。必修科目である。

☆授業のねらい
想いをあらわすために、布の動き方、量感、表情を描けるようにする。また服を細部にまで描くことのできる線の描き方も学ぶ。

☆目標
個性あふれる線の描き方、自分らしいデザイン画が描けるようになることを目指す。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 40 実習時数 100

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《コンテストデザイン画》 デザイン考案、リサーチ	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
2回	(新人デザイナーファッション大賞) 着装画、着色	デッサン10分 復習:作業確認
3回	《コンテストデザイン画》 デザイン考案、リサーチ	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
4回	(ドレメ全国ファッションデザインコンテスト) 着装画、着色	デッサン10分 復習:作業確認
5回	《コンテストデザイン画》 デザイン考案、リサーチ	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
6回	(毛皮デザインコンテスト) 着装画、着色	デッサン10分 復習:作業確認
7回	材質表現(レース)	デッサン10分 予習:素材リサーチ
8回	材質表現(光沢のある布)	デッサン10分 予習:素材リサーチ
9回	材質表現(皮革)	デッサン10分 予習:素材リサーチ
10回	模写① テーマ素材にあわせてコレクションから描く	デッサン10分 予習:作業資料用意
11回	模写② テーマ素材にあわせてコレクションから描く	デッサン10分 予習:作業資料用意
12回	テーマデザイン テーマ「建築」	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
13回	テーマデザイン テーマ「素材加工」	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
14回	メンズプロポーション	デッサン10分 復習:反復練習
15回	SMSDデザインショー デザイン画	デッサン10分 予習:デザインリサーチ
16回	デザイン発想 テーマ「シンボリックイラスト」テーマ立案	デッサン10分 予習:テーマリサーチ
17回	アイディア展開・コンセプト決定・デザイン案展開	デッサン10分 復習:残った作業を進める
18回	ラフスケッチ	デッサン10分 復習:残った作業を進める
19回	デザイン決定・レンダリング	デッサン10分 復習:残った作業を進める
20回	着色	デッサン10分 復習:作品の見直し
21回		各自の進行状況に合わせる
22回	特別授業(展示会&ショーのため)	復習:残った作業を進める
23回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	《パネル作品》 パネル水貼り・デザイン考案	デッサン10分 予習:資料収集
27回	アイディア展開	デッサン10分 復習:残った作業を進める
28回	コンセプト決定・デザイン案展開	デッサン10分 復習:残った作業を進める
29回	デザイン決定・レンダリング	デッサン10分 復習:残った作業を進める
30回	パネルに下書き	デッサン10分 復習:残った作業を進める
31回	パネル着色	デッサン10分 復習:残った作業を進める
32回	パネル着色	デッサン10分 復習:残った作業を進める
33回	パネル着色	デッサン10分 復習:残った作業を進める
34回	パネル着色	デッサン10分 復習:残った作業を進める
35回	まとめ・合評開	復習:作品の振り返り

☆フィードバックの方法
各作品添削の際に、コメントやアドバイスを記入して、次回以降の授業で返却する。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画
GAP、各種ファッション雑誌

☆オフィスアワー
月曜日13時10分～16時20分:200教室
鈴木英子担当

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

ディスプレイⅡ

担当鈴木英子 スタイリスト学科2年

☆概要

1年次で得た空間演出の基礎知識や技術をもとに、2年次では、各シーズンで設定したテーマを効果的にアピールする方法を研究し設計計画・オブジェ制作・演出など総合的に学ぶ、必修科目である。

☆授業のねらい

ディスプレイのプランニング・演出小道具の制作・ウィンドウへのディスプレイ設置・ショーイングまでを体系的に習得する。

☆目標

商品や展示物を引き立てて魅力ある空間を演出できるようにする。

☆授業計画

総授業時数 140 講義時数 15 実習時数 125

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	ディスプレイ① 春用にチェンジ ディスプレイについて説明	復習:ディスプレイを見直す
2回	《ディスプレイ②》初夏 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
3回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
4回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
5回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
6回	ディスプレイ② 初夏にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
7回	《ディスプレイ③》夏 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
8回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
9回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
10回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
11回	ディスプレイ③ 夏にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
12回	《ディスプレイ④》秋 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
13回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
14回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
15回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
16回	ディスプレイ④ 秋にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
17回	《ディスプレイ⑤》冬 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
18回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
19回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
20回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
21回		各自の進行状況に合わせる
22回	特別授業(展示会&ショウのため)	復習:残った作業を進める
23回	オリジナル作品制作	復習:残った作業を進める
24回		復習:残った作業を進める
25回		復習:残った作業を進める
26回	ディスプレイ⑤ 冬にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
27回	《ディスプレイ⑥》梅春 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
28回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
29回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
30回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
31回	ディスプレイ⑥ 梅春にチェンジ	復習:ディスプレイを見直す
32回	《ディスプレイ①》春 企画立案、アイデア展開	予習:テーマにもとづいて資料集め
33回	デザイン決定	復習:残った作業を進める
34回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める
35回	演出小道具制作	復習:残った作業を進める

☆フィードバックの方法

授業の中で質問に答えて、その都度解決していく。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献

ディスプレイノート

☆オフィスアワー

月曜日09時00分～12時10分: 200教室

鈴木英子担当

☆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

ブライダル

担当佐藤道子 スタイリスト学科2年

☆概要
最近の結婚のスタイルに即応できる人材育成のために必用な科目である。

☆授業のねらい
オリジナルウェディングの多様化に対応できる力を業界の現状を理解し身に付ける。

☆目標
ユーザーに対して的確なアドバイスのできるプランナーをめざす。またブライダルファッションプランナー検定試験合格を目指す。

☆授業計画

総授業時数 70 講義時数 70 実習時数 0

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1回	《オリエンテーション》	業界の現状
2回		協会の認定する資格
3回		スペシャリストの役割
4回	《ウェディングの種類》	本を読んで説明する
5回		神前結婚式
6回		キリスト教結婚式
7回		人前結婚式
8回		本を読んで説明する
9回	《日本のウェディングの歴史》	本を読んで説明する
10回		婚礼の歴史
11回		年代別の特徴
12回	《セレモニー・レセプションの現状とトレンド》	本を読んで説明する
13回		会場の多様化
14回		レセプションの変化
15回		本を読んで説明する
16回		セレモニーレセプションの専門用語
17回	《ファッションコーディネート》	本を読んで説明する
18回		各部名称と種類
19回		ドレス丈・トレーンの種類
20回		カラー・ネックライン・スリーブ・アクセサリーの種類
21回		本を読んで説明する
22回		シルエット別コーディネーション
23回	《フォーマルファッション》	本を読んで説明する
24回		ウェディングの場合の礼装
25回	《カラーコーディネート》	本を読んで説明する
26回		ウェディングカラーコーディネーション
27回	《フラワーコーディネート》	本を読んで説明する
28回		ウェディングにおけるフラワー装飾について
29回		セレモニー会場・披露宴・パーティー会場の装花
30回		本を読んで説明する
31回		ウェディングブーケ・ブートニアブーケの形について
32回	《和装コーディネート》	本を読んで説明する
33回		打掛花嫁・新郎の紋付 名称
34回		振袖・留袖・中振袖について
35回	《フォトスタイリング》	本を読んで説明する
36回		美しい花嫁姿を残すために
37回		基本ポージング・移動時のポイント
38回		本を読んで説明する
39回		シーン別アドバイス
40回	《カップルアテンダントの方法》	本を読んで説明する
41回		ブライダルアテンダントについて
42回	《結納・婚約の現状とトレンド》	本を読んで説明する
43回		伝統としきたりに従った結納
44回		形式にこだわらない婚約式
45回	《マナー》	本を読んで説明する
46回		マナーの基本
47回		訪問・手紙のマナー
48回		本を読んで説明する
49回		食事のマナー
50回		本を読んで説明する
51回	《接客知識》	本を読んで説明する
52回		接客の必要性
53回		接客要素
54回		本を読んで説明する
55回	《専門用語》	本を読んで説明する
56回		ホテル式用語・ジュエリー用語

☆フィードバックの方法
授業内で不明点、質問などあれば、その場で対応する。

☆成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	—
試験結果	50 %
検定試験	20 %
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

☆教科書及び参考文献
ブライダルの基礎知識

☆オフィスアワー
金曜日 09時00分～10時30分：CAD室
佐藤道子担当授業時数70時間

☆備考
日程及び授業内容は変更することもある。

卒業研究

担当佐藤道子・鈴木英子・吉田陽子

スタイリスト学科2年

★概要

2年間学んだ集大成として、最終課題に相応しいテーマを個々に設定し3コーディネート以上の作品を製作する。さらに作品発表にむけてデザインにあうトータルコーディネイトを演出する。卒業に必要な必修科目である。

★授業のねらい

商品企画から生産にいたるまでの流れを卒研でのデザインから製作を通して体験し、様々な視点からアパレル生産を認識する。

★目標

オリジナルブランドとしてアパレルの流れに沿った形で企画から製作を行い、あらゆるアイテムのデザインに対応できる技術力を目標に作品を製作する。

★授業計画

総授業時数 700 講義時数 40 実習時数 660

回数	授業内容	具体的内容(予習・復習等)
1週	テーマ・デザイン考案、素材選択	予習:デザインについてリサーチ
2週	ポートフォリオ作成・プレゼンテーション	予習:ポートフォリオ資料集め
3週	《トワル》卒研① 仮縫い用パターン作成(平面製図・立体裁断・パターン展開)	予習:シーチング地直し
4週	トワル作成・フィッティング	復習:時間内に終わらないものは各自作業を進める
5週	トワル修正	
6週	《トワル》卒研② 仮縫い用パターン作成(立体裁断・パターン展開)・トワル作成	予習:シーチング地直し
7週	トワル作成・フィッティング	復習:時間内に終わらないものは各自作業を進める
8週	トワル修正	
9週	《トワル》卒研③ 仮縫い用パターン作成(立体裁断・パターン展開)・トワル作成	予習:シーチング地直し
10週	トワル作成・フィッティング	復習:時間内に終わらないものは各自作業を進める
11週	トワル修正	
12週	《パターン作成》卒研①②③各アイテムパターン修正・作成	各自の進行状況に合わせ作業を進める
13週	各パターン&パーツの工業用パターンへ	
14週	各パターン&パーツの工業用パターンへ	
15週	各アイテム縫製仕様書作成・付属出し	
16週	各アイテム付属確認	
17週	各アイテムマーキング	
18週	《作品制作》卒研① 生地裁断、芯貼り、アイロン	予習:生地付属の準備
19週	縫製	復習:縫製確認
20週	縫製	各自の進行状況に合わせ作業を進める
21週	縫製	
22週	装飾等(服飾小物製作)	
23週	《作品制作》卒研② 生地裁断、芯貼り、アイロン	予習:生地付属の準備
24週	縫製	復習:縫製確認
25週	縫製	各自の進行状況に合わせ作業を進める
26週	縫製	
27週	装飾等(服飾小物製作)	
28週	《作品制作》卒研③ 生地裁断、芯貼り、アイロン	予習:生地付属の準備
29週	縫製	復習:縫製確認
30週	縫製	各自の進行状況に合わせ作業を進める
31週	縫製	
32週	装飾等(服飾小物製作)	
33週	《仕上げ》	セルフチェック
34週	モデルとフィッティング・トータルコーディネイト	予習:作品の見直し
35週	作品提出・ポートフォリオ提出	予習:作品の見直し

★フィードバックの方法

各卒研、各アイテム作業段階ごとに個別に点検指導を行う。
パターン・縫製仕様書・ポートフォリオ・作品を点検・採点後に返却し解説を行う。

★成績評価の方法・基準

授業態度	30 %
課題	70 %
試験結果	—
検定試験	—
企業研修	—

出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は、再履修とする。
授業の取り組み、課題の完成度などによる総合評価とする。

★教科書及び参考文献

なし

★オフィスアワー

水・木・金曜日13時10分～16時20分 *後期のみ火曜日13時10分～16時20分・水曜日09時00分～12時10分 :200教室

水・木曜日鈴木英子担当

金曜日・後期水曜日吉田陽子担当(実務経験あり)授業時数210時間

後期火曜日佐藤道子担当(実務経験あり)授業時数68時間

★備考

日程及び授業内容は変更することもある。